

#BuildingTogether 太陽ローズハウス(青葉区)

市内屈指のローズガーデンを有する公園に生まれた、地域住民をつなぐ共創の家



太陽ローズハウス。オープン時には赤い看板が掲げられている。

舞台は市営地下鉄あざみ野駅からバスで15分程の場所に位置する、荻子田太陽公園。230株のバラが咲き誇り、年に一度の「ローズフェスティバル」には3000人以上が訪れます。以前は荒れた公園でしたが、小学校のおやじの会がつつそうとしたツタなどを取り払い、さらに近隣に住んでいたイギリス帰りの住民の「市の花のバラを植えたらどうか」というアイデアをもとに、2001年より、有志で組織された「Joy of Roses(バラの会、以下JOR)」の手によってローズガーデンづくりが始まりました。

ローズガーデンが整備されると、園芸雑誌の表紙にも取り上げられるようになり、近隣の小学校や幼稚園だけでなく、遠方からも人が訪れるようになりましたが、公園にはトイレや休憩できる場所がなく、せっかく訪れた人たちが短時間で帰ることが多いことが課題でした。

そのような中、ヨコハマ市民まち普請事業を知り、すぐに申請を決めたそうです。中心となったのはJORのメンバーであり、荻子田太陽公園愛護会の会長でもあった増田さんでした。増田さんは自治会など地区の役員も兼務されていて、地域の中に住民が集える場所が自治会館しかなく、他にも気軽に集える場所があればと以前から感じていたことから、申請にあたってはその機能も盛り込みました。

増田さんは「JORだけで進めていくと、施設は地域のものにならない」と考え、自治会、子育てサロン、合唱グループなど地域で活動している人たちに声をかけて回ったそうです。一方で、ボランティア活動をしている様々な団体が集まったことで、その意見をまとめていくことに苦勞をしたとのこと。その苦勞の甲斐もあってか、二次コンテストでは高い評価を得ることができました。



外構部の石敷きの様子。地場の協力業者の方に教わりながら、自ら手がけた。

二次コンテストの前には、助成金の500万円では整備費用が足りないという課題が立ちはだかりました。コンテストに通過する前だったので、予約という形で寄付を集めに回ったそうです。ここに説明に行っても「本当にできるの?」と言われて、それに対して「JORのためではなく、地域のために」で



人気の将棋教室。地域に住んでいるシニア大会優勝者の強者が講師を担当している。

きないではなく、「つくる」と思いを伝え、理解を得ていったそうです。並行して、近隣に住んでいたまちづくりが専門の大学の先生に助言をもらうとともに、公園の管理を担っている土木事務所にも何度も足を運び、より実現性の高いプランへと落とし込んでいきました。一次コンテストの段階ではほんやりとしていた提案が具体的になるにつれて、協力してくれる人も増え、地域が一致団結していききました。その結果、二次

コンテストも見事通過することができました。

整備にあたっては、できるだけコストを削減するために、部屋のクロス貼りや床のフローリング敷きなどを、おやじの会の協力を得ながら、地域の人たちの手で進めていきました。また、地場の企業が、資材の提供や樹木の伐採など多くの部分で協力してくださったそうです。



完成後の施設の管理にあたっては、コンテストに協力してくれた地域の団体に、管理人として留守番を担う団体の登録をしてもらうことで、その団体が施設を使用している時間は、公園に来ている人もトイレを使ったり、休憩できるようにしました。その後、コンテストに挑戦していた時期から地域に全戸配布している広報紙を見た人が、「ここでこんなことできないか」と公園を訪れ、「コーヒーを振る舞う会や、将棋教室、書道教室などの活動が新た

に団体へと発展し、今では18もの団体が登録しているそうです。

開所してから1年を待たずして、月に300〜400人が利用するようになり、特に小さい子どもがいる子育て世代に人気の場所となっています。そのような世代間の交流が生まれていることに加え、JORのメンバーも休憩場所ができて、ボランティアの参加者も増えたことから、公園がどんどん綺麗になるという好循環へとつながっています。

増田さんに今後の展望を伺ったところ、「地域には子育て世代や高齢者を中心にまだまだ屋内にこ



地域の子育て中の母親たちが集う場にもなっている。



#BuildingTogether
太陽ローズハウス(青葉区)
整備主体…荻子田太陽公園愛護会グループ
整備場所…青葉区荻子田3丁目21番5号
荻子田太陽公園内
整備内容…トイレを備えた休憩・集会所施設
協力企業…株式会社 三橋緑化興業
竣工時期…平成31年3月

もっている人が多いので、外に出かけたくなる仕掛けをさらに考えた」とのことでした。また、「横浜一綺麗な公園にしたい」という目標もあるようです。ローズガーデンに加え、新たな魅力が備わった荻子田太陽公園の今後に大いに期待できそうです。